

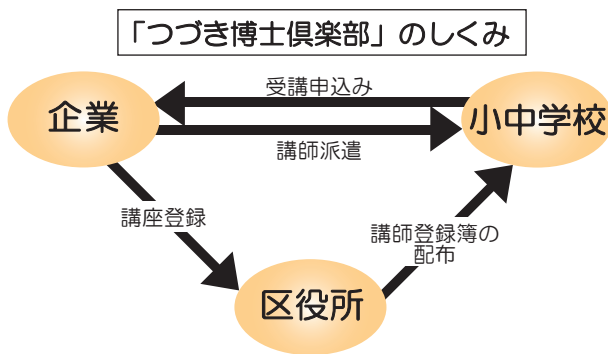
# 「つづき博士倶楽部」に協力！

2001年9月13日、神奈川県横浜市都筑区の川和東小学校において、当社の栗本洋二常務が、同校6年生を前に教壇に立ち、地球の環境問題についての授業を行いました。これは都筑区が全国に先駆けて行いました「つづき博士倶楽部」という試みの第一弾となるものです。

2002年4月より導入される小中学校の「総合的な学習の時間」に対応し、都築区内に拠点をもち

つ企業の社員が地域貢献の一環として、区内の小中学校にボランティア講師として派遣される制度ができました。これにより小中学生は一流の技術に触れ、理科や科学への関心を育むとともに、自ら興味を持って学ぶための力を育む、という教育観に基づいた学習を推進できるという狙いがあります。

近年、小中学生の理科離れが盛んに取り沙汰される中、日々新技術や製品開発を研究しつづける技術者の指導は明確で、まさに「実学」といったところです。当社の場合は「地球規模的な環境問題から身近な家庭生活での環境問題の実践」、「横浜の川と海の魚」、「気象の解析と天気図の作成」など、自然に関する講座もあり、それぞれの個性を生かした講座が準備されています。



また、地球環境カレッジ(株)では他にも中高生の職場訪問や、インターンシップ制度を受け付ける

等、環境教育や地域貢献に力を注ぎ、未来の技術者の育成にも取り組んでおります。